

県内小学校・中学校・義務教育学校に今後の参考となるものを届けることをねらいとして「Advisers' viewpoint」を作成しています。
今号では、**学校の説明責任を果たすためのマネジメントの在り方**について、学習指導要領を参考にまとめ、紹介します。

カリキュラム・マネジメントと組織マネジメント

ココに注目!

「学習指導要領解説総則編」の
「カリキュラム・マネジメント
の充実(第1章第1の4)」
(小学校P.39~45/
中学校P.40~46)



学校経営AD

学校経営の状況は、校内外の様々な人々に対して明確に説明できるようにしたいものです。
カリキュラム・マネジメント(以下「**カリマネ**」)と**組織マネジメント**(以下「**組マネ**」)の
考え方は、教育活動を充実させるとともに、説明責任を適切に果たすことにつながります。



Plan ① 目標達成に向けた推進体制の構築

<カリマネ> **各種調査結果やデータ等**に基づき、児童生徒や学校及び
地域の実態を把握した上で、学校としての目標を設定しましょう。

<組マネ> **役割分担を決め、担当者や部会等が目標達成のための具体的
の方策を立案します。**経験豊富な職員を担当者に据える方法もあり
ますが、**人材育成**の観点から、**あえて若手職員を担当者に指名する**
ことも考えられます。いずれにしても、校内の組織及び各種会議の**役割**

分担や相互関係を明確に決め、職務分担に応じて**既存
の組織を整備、補強したり、既存の組織を精選して新たな
組織を設置**したりしましょう。



学校として設定した目標のうち、アクションプランには
重点となる目標を選んで取組や指標を記載しましょう。

Action ④ 分析・検証後の取組の立案・共有・実践

<組マネ> 個々の職員の取組の質や実行度を高めるには、**組織の支え
が重要**です。問題の要因を個人のみでなく**組織の在り方にも求めて、
一つ一つ解決し、組織が機能するよう調整**しましょう。

- ③の分析・検証結果を踏まえ、堅調な取組は継続を確認
- 効果が現れていない取組は、その要因と背景を明らかにした
上で、校長又は担当者等が改善策を立案し、組織で共有、実践



【注】**下線部(実線)**は重要ポイント、
下線部(破線)はその補足。

Do ② 取組の推進

<カリマネ> 人材や予算、時間、情報といった人的又は物的な**資源を
効果的に組み合わせる**ことが大切です。随時、教材・教具の整備
状況、地域の教育資源や学習環境の**客観的かつ具体的把握に
努め**ましょう。

- ・学級担任、教科担任、主任、担当者等は、
それぞれの立場で重点取組等を実践
- ・管理職は、見取りや声掛け、相談対応等を通して進捗を管理



© 岡山県「ももっち・うらっち」

Check ③ 取組状況の分析・検証(中間期、年度末等)

<カリマネ> 説明責任を果たす上で、**各種調査結果やデータ等
に基づき、重点取組等の実行度と、目的の達成度(児童
生徒の変容等)の両面について、定期的かつ定量的な
把握が必要**です。

- ・取組の実行度を点検(管理職等による授業参観・
相互参観、職員との面談、取組報告書又は点検表、
学習状況調査、児童生徒アンケート・職員アンケート等)
- ・目的の達成度を点検(学力・学習状況調査、児童生徒
アンケート、職員による児童生徒の変容に係る見取り等)
及び取組の実行度と組み合わせた考察・効果検証

中間期が
特に
大切!

